


国立競技場

2012.9・10
Vol.593



ナイトツアー NIGHT TOUR

ファンランDAY2012 を開催します

 ロンドン通信
オリンピックと文化・芸術

 国立登山研修所
全国山岳遭難対策協議会を開催

 スポーツ博物館
幻の秩父宮杯

SPORTS TRADITION



青山 ラブカップル ランニング

in 国立競技場

Running

今年で3回目となるNPO法人青山ウエディングタウンフォーラム主催の「青山ラブカップルランニング」が、7月22日(日)、国立競技場で開催されました。今回の大会は天候にも恵まれ、参加種目も昨年より1種目増やし約1,000名の参加者で盛況の中イベントはスタートしました。

イベント概要

●カップルラン

カップル(未婚・既婚問わず)2人で仲良くランニングを楽しみつつ、仲の良さをアピールして手を取り合ってゴールを目指すもので、国立競技場内トラック+外苑周回コースで実施。(8km:定員100組200名/4.9km:150組300名2コース)

●婚活駅伝ラン

競技前に、自己紹介タイムやレクリエーションも開催し、男女混合のチームで出会いを見つけやすい種目です。(国立競技場内トラック、4.9km:定員男女各80名)
※組み合わせは、大会事務局で行い編成は当日に発表。

●チーム駅伝ラン(今回からの新種目)

12kmをチームのメンバーと分け合って走る駅伝方式のランニングで、1チーム2~4人で参加するものです。(国立競技場内トラック+外苑周回コース)

●ひよこラン

パパ・ママ・祖父母とペアで仲良く国立競技場を走ります。(定員:20組40名、小学生未満の子供と保護者がペア)

イベントの様子

天気もよく湿度も高くなかったせいか、気持ち良さそうに走っている参加者の姿が印象的でした。

開会式では、カップルラン参加で挙式予定の2組が聖火台上り火を灯すイベントを行い、普段では体験できない喜びとともに、参加者約1,000名から

カップルランの様子



10組のカップルが誕生した婚活駅伝ラン



挙式予定2組による聖火台点火

の祝福を受けました。

人気の種目は、やはり「婚活駅伝ラン」。参加者同士が結ばれることも

ある、出会いが大いに期待できる種目です。最初の自己紹介では、初対面なので少し緊張の面持ちでしたが、走り始めはさこちなかったペアも、走りながらクイズの答えを考えたりするうちに意気投合し、帰ってくる頃にはすっかり仲良く楽しんでいる姿が微笑ましく感じられました。

レースの最後には、気に入った方のゼッケン番号をカードに記入して投票し、カップルがなんと10組誕生! 成立したカップルには、記念品が贈呈され、ダブルのうれしさから満面の笑みがこぼれていました。

楽しく走った後は、婚活駅伝ランとチーム駅伝ランの参加者を対象として、食事とお酒を飲みながらカップルの成立を目的としたアフターパーティが、国立競技場から場所を移して青山方面で開催されました(事前申込参加者100名限定)。

パーティでは気に入った方に渡す『お願いしますカード』を用い、さらに3組のカップルが誕生。最近の傾向でもある携帯電話でメール交換をしている方が多数みられ、主催者側も、来年は携帯を使ってのランニングメニューも思案中とか……? 幸せをつかむ一つの方法として、ランニングという共通の趣味を持ち合うのも良いものだと感じた大会でした。

※写真提供: NPO法人
青山ウエディングタウンフォーラム

夏休みスペシャルイベント

国立競技場

初のナイトツアーを開催

8月7日(火)、17日(金)の2日間、国立競技場では初となるナイトツアーを、各回50名限定で実施しました。

バックスタンドから見る夜景



■選手エリアへ潜入

まずは、通常は選手やスタッフのみが入れるエリアへご案内し、選手が使用する更衣室へ進みます。

選手ごとに用意されるロッカーには、2010年FIFAワールドカップアジア予選の際に着用したユニフォームを掛け、作戦ボードも設置し、実際に使用する場を再現しました。

また、7月11日に国立競技場で開催された麒麟チャレンジカップのマッチボール等を展示して、記念撮影も楽しんでいただきました。

その後、クイズ番組等にも時々登場する「サニスタンド」(女性用の立って使うタイプの便器)の紹介をしたところで、参加者にはお知らせしていなかったサプライズが!

急いで参加者の皆さんをグラウンドへ誘導すると、国立競技場の隣、神宮球場で5回終了時に打ち上げられる花火300発が夜空に美しく放たれ、夏の風物詩をご堪能いただきました。

このサプライズ、実は我々スタッフが野球中継を聞きながら、打ち上げのタイミングを図りつつご案内していたのです。花火の打ち上げと同時に上がった歓声を聞いたときには、スタッフ一同、上手くいったことを安堵すると同時に心の中で小さくガッツポーズをしました。

■国際試合気分で

さて、花火をご覧いただいた後は、先着申込み20名の方が選手役になり、フェアプレーフラッグを持って国際試合さながらの入場シーンを体験していただきました。入場の音楽を流し、メインスタンド下のダッグアウト



神宮球場の花火

トからゲートをくぐり、いざピッチへ。

惜しくも先着順にもれた方には、メインスタンドに座り、大きな拍手で迎えていただきました。



入場体験に喜ぶ参加者たち

■特別会場へ

入場体験の後は、メインスタンドで壁画や聖火台の紹介をして、バックスタンドの聖火台のもとへ。

案内役に導かれ、約50人が長い列をなして歩きます。スタンドを約半周し、階段を上り、やっと到着です。

聖火台付近まで上ると、メインスタンドの後方に新宿の見事な夜景が視界一杯に広がり、参加者の皆さんからは感嘆の声が上がりました。

バックスタンドでは、軽食と飲み物を用意し、スタンドでゆっくりと国立競技場と新宿の夜景とのコラボレーションを楽しんでいただきました。

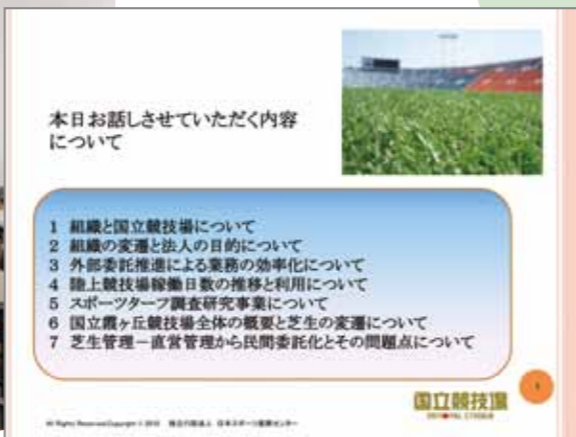
今回のナイトツアーは初の試みで不安な点多々ありましたが、参加者の皆さんからは「国立競技場をこんな少人数で楽しめるなんて贅沢」「こんな夜景を見られるポイントは希少。ビアガーデンとして開放してくれないかなあ」といった感想をいただきました。

参加者の皆さんのご意見を参考に、より楽しんでいただけるイベントを今後も企画していきたいと思えます。



バックスタンドで夜景を楽しむ参加者の皆さん

日本芝草学会 2012年春季大会 (40周年記念大会)



はじめに

芝草（芝生）管理技術の向上と情報の普及、学術研究を通じて技術向上を図り、事業の発展に寄与することを目的として設立された日本芝草学会という組織があります。

学会の年間活動には、春季大会（6月）と秋季大会（9月）という研究発表会があります。今年度の春季大会は、6月22日（金）から24日（日）の3日間の日程で東京農業大学他で開催され、今年で組織の設立から40周年を迎えるに当たり、スポーツターフをテーマにした特別企画の講演依頼があり、発表を行ってきましたので、その一部をご紹介します。

スポーツターフの特別講演

学会内には、公園緑地部会、校庭芝生部会、グラウンドカバープランツ緑化部会、ゴルフ場部会の4つの研究部会が存在しますが、今回は研究部会のひとつ、公園緑地部会の目玉企画として「都市公園における競技場のスポーツターフ管理と運営」を取り上げ、競技場芝生フィールドの維持管理についての認識を深めることを目的に、国内の代表的な3施設（国立競技場、日産スタジアム、アウトソーシングスタジアム）がそれぞれ講演することになりました。本企画の背景には、学会関係者内部で「スポーツターフに特化した管理実態を把握する機会が極めて少ない」という声があったようです。

当日は、40周年記念大会ということもあり、200名収容の教室がほぼ埋まった状態でした。

講演内容は、まず組織内（独立行政法人日本スポーツ振興センター）での国立競技場の位置関係を簡単に説明し、その後、外部委託化等推進による業務の効率化、稼働日数の確保が求められている現状、これまでに取り組んできた施設利用者のための利便性向上策を中心に、国立競技場の業務を理解していただくような構成としました。

組織の変遷では、約10年前に比べ職員数が半減し、今まで職員が行っていた芝生管理業務の外部委託推進による業務の効率化、稼働日数の確保、更なるサービスの質の向上と、安全かつ良質なサービスが求められている厳しい現状について説明しました。

一方で、国立競技場が独自に取り組んでいる「スポーツターフ調査研究事業」については、聞き手も非常に関心がある内容で、学会関係者の中には、国立競技場が全国の主要スタジアムの関係者を集めて情報交換会を行っていること、またスポーツターフ維持管理研修会を開催していることは既に知れ渡っており、このことについては詳細に取り組み事例を紹介しました。

後半では、陸上競技場芝生の概要と芝生の変遷について、直営管理の時代から現在の委託化の状況を見据えながら、直営管理と委託管理それぞれの利点を交え、その狭間で感じる委託管理の現状について説明しました。特に、委託管理による人員の削減は、管理部門の人員費を削減し、業務発注による労力を軽減できます。また、委託化は芝生に携わってきた当場の技術専門職員の定年による知識や技術の未継承を補完する意味合いもあります。反面、生き物（芝生）を管理する上での委託化の責任の明確化が難しい点や、グラウンドコンディションの向上には、国立競技場の目指すべき管理目的や考え方を委託業者に理解してもらう必要性があります。

今回の講演発表に際しては、日本芝草学会春季大会40周年記念大会という特別な場で、初めての講演を経験させていただき、決して満足できる内容ではありませんでしたが、声をかけていただいた学会関係者に感謝し御礼を申し上げます。

国立競技場としては、芝生技術等を普及・伝播していく役割がますます増えることが予想されます。日々の生活にアンテナを張り、情報の収集に努めていきたいと思っております。

国立スポーツ科学センター（JISS）

Twitter 始めました!

(ツイッター)



しば子だよ。
応援よろしくね。

国立スポーツ科学センター（JISS）では、平成24年度より新しい情報発信ツールとして、Twitter（ツイッター）において、2つのアカウントの利用を開始しました。

1つはJISS ホームページ更新情報やTV・新聞等へのメディア放映・掲載情報、JISS 栄養指導食堂のアスリートメニューなどをつづやくJISSの公式アカウントで、我が国の国際競技力向上の一翼を担うことを目標としています。

もう1つは、味の素フィールド西が丘における芝生の管理状況やイベント情報をつづやくアカウントで、日常的な情報である芝生の管理状況等をマスコットキャラクターの「しば子」が紹介します。継続的に発信することで、芝生に関する知識や管理状況の知見となることを目標としています。

時間をかけてJISSへの愛着を、より多くの方々にもっていただき、また関係各所と新しい形での連携強化を図ることが

できればと考えています。是非一度ご覧いただき、フォロー、リツイートしていただくと幸いです。

- 国立スポーツ科学センター <http://twitter.com/jissofficial>
- 味の素フィールド西が丘 <http://twitter.com/jissosoccer>

ツイッターについて

ツイッターとは、ツイートと呼ばれる書き込み（メッセージ）を投稿することで、フォロワーと呼ばれる自分のアカウントをお気に入り登録しているユーザーに対して「いま、何しているか」、現在の状況を一斉に知らせ、広めることのできる、リアルタイム性と拡散性を重視した作りが特徴のツールです。

国立競技場

ファンラン DAY2012 を開催します



国立競技場

ファンラン DAY2012

～快走快食～

2012年10月28日（日）
国立競技場・神宮外苑外周

主催：独立行政法人日本スポーツ振興センター（国立競技場）
共催：日刊スポーツ新聞社
後援：青山商店会連合会「第26回青山まつり」

詳しくは▶ <http://naash.go.jp/kokuritu/funrunday2012>



1時間ラン&クリニック

ペースメーカーを配置し、国立競技場トラック～国立競技場コンコース～神宮外苑周回コースを1時間走っていただきます。



ランフォードスタジアム

- ・ランニングの後は、おいしいオリジナル料理等のランフォードをご用意
- ・ゲストを招いたトークショー等のイベントも実施
- ・「ランフォードスタジアム」は一般の方も参加可能



2012年 ロンドン通信

オリンピックと文化・芸術

かつてオリンピックでは絵画や彫刻などの芸術作品を対象とした芸術競技が実施されていたり、オリンピックの開催には文化プログラムの実施が義務づけられているなどオリンピックと芸術は深い関係性を持っています。今回ロンドンでもオリンピック期間中に市内で様々な文化・芸術的催しが開催されました。その中のひとつがロンドン市が実施した「Stroll: Discovery Trail」です。

ロンドンオリンピック・パラリンピックの期間中にロンドン市内の多くの場所でオリンピック・パラリンピックそれぞれのマスコットである「ウェンロック」と「マンデビル」の像を目にすることとなりました。その数は83体にも及び、それぞれの像はカラーリングやコスチュームによって全て違うデザインとなっています。これらの像は「Discovery Trail」によって設置されたもので、市内に設定された全長2.6km～4.8kmの6つの「Stroll」＝「散歩」コース上にあります。



タワーブリッジと Beefeater Mandeville

市内の見どころが網羅された各コース上に像を設置しそれを巡ることによって、オリンピックを機にロンドンを訪れた人々によりロンドンを知ってもらおうというイベントになっています。そこでしかお目にかかれないマスコットの姿をお目当てに、地図を片手にコースを散策した方からは結果的に街並みや観光名所の位置関係等ロンドンについての見識を深めることができたとの感想が聞こえてきました。

参加者にとっては、ロンドンの街を知り、運動にもなり、芸術に触れることもできると一石三鳥となったイベントと言えるのではないのでしょうか。

オリンピック・パラリンピックの間中はこうした文化・芸術イベントに加えて各国が自国のアピールのための施設を市内各地で展開するなど街の雰囲気華やいで感じられました。やはり単なるスポーツイベントという枠には収まらないオリンピック・パラリンピックの大きさを実感しました。



国会議事堂と Speaker Wenlock



ロンドン市庁舎と Skyline Wenlock

スポーツ博物館 幻の秩父宮杯

スポーツの歴史を物語る貴重な資料が博物館展示室に仲間入りしました。

銀色に輝く杯、中央には菊の紋章、その周りをかたどる若松の印。これは今年の7月5日に全日本学生スキー連盟より当館に寄贈していただいた杯で「秩父宮杯」といいます。その名の通り秩父宮雍仁殿下にゆかりのある杯で、かつて秩父宮殿下が全日本学生スキー連盟にお授けになった杯なのです。同連盟が主催するスキー競技大会に、大学対抗の「秩父宮杯・秩父宮妃杯・寛仁親王杯・全日本学生スキー選手権大会」があります。この大会の名称の由来は1928年に行われた第1回大会に来臨された秩父宮殿下が杯を下賜され、これ以後、総合優勝校に授与され続けてきたことによります。

この秩父宮杯は数奇な運命を辿った杯でもあり、戦時中に金属供出され一時は行方不明になりました。その間の経緯は定かではありませんが、杯は様々な人の手に渡ったようで、なんと1999年にハワイで発見されたのです。その顛末を簡単に紹介すると、当時の所有者であった米国人のジョージ・リンチさんは仕事で日本に関わっていた経験から、菊の紋を見て天皇の持ち物だと思いついたそうです。そしてこの杯を在日米国大使宛てに

照会したことが、失われた杯の発見へと繋がりました。

杯はジョージ・リンチさんの意向により全日本学生スキー連盟に贈られ、日本に帰国しました。その後の約10年間は再び同連盟にて活用され、そして現在、行方不明から約60年の時を刻んで、当館の秩父宮殿下御遺品室に展示されています。

当館の所蔵品の一つ一つには、どれも競技や選手にまつわるエピソードがあります。この秩父宮杯は、戦前のスポーツ史の資料であり、スポーツを愛する秩父宮殿下の思想の象徴であり、日米友好の証だともいえるでしょう。現在の技術では作製することができないため、工芸学史料としても貴重なものだそうです。当館においでの際は秩父宮杯を是非ご鑑賞ください。

ところで60年もの間、秩父宮杯は一体どんな旅をしてきたのでしょうか？ 巡り巡って秩父宮記念スポーツ博物館にやってきた道のりに思いを馳せながら、銀杯の造形美や神秘的な輝きをご覧いただくのも一興ではないかと思えます。



国立登山研修所 全国山岳遭難対策協議会を開催

7月11日、文部科学省3階講堂で全国山岳遭難対策協議会が開催され、全国の山岳遭難対策関係者約300名が参加しました。

内容は、平成23年中の山岳遭難事故概況報告や消防防災ヘリコプターによる山岳救助のあり方に関する検討会概要報告、山岳遭難救助に対する兵庫県の取組みについての事例報告、「日本における国際認定山岳医制度について」「那須山岳救助隊での遭難防止への取組み」と題しての講演が行われました。その後、「山岳遭難事故防止のために」（以下に示す）を採択し閉会しました。

◆「山岳遭難事故防止のために」

- 全国山岳遭難対策協議会 平成24年7月11日
登山者は山岳遭難事故防止のために次のことに取り組むこと
- ・登山の第一歩は、目的とする山をよく理解することから始まります。地図を基本にガイドブックや現地等から事前に山岳情報を調べる。
 - ・登山計画を作成して、パーティー全員がその山を良く理解するとともに、体力と経験に応じた無理のない計画であるかをよく検討すること。
 - ・登山計画書を家族や職場に知らせ、また、登山口の登山届ポスト、地元の警察署等に提出すること。
 - ・単独登山はやめて仲間と登り、ツェルトや救急用品、非常食

を必ず携行して、ゆとりある行動を心がけて、安全に登山を行うこと。

- ・山の事故は自己責任であることをよく考えて、山岳保険には必ず加入すること。
- ・危急時に確実に連絡を取れる手段を確保するために、無線機、携帯電話等の通信機器を持参して登山を行うこと。
- ・登山に出発する前に目的とする山域の最新の気象情報を入手して、気象遭難を防ぐこと。
- ・登山中は常にパーティー全員の体調や疲労に注意を払い、コースの状況・気象条件等に応じて下山するなどの冷静な判断を行い、山岳遭難事故を絶対に起こさない心構えで行動すること。

関係者は山岳遭難事故防止に向けて次のことに努める

- ・登山計画書の提出を奨励し、計画的で安全な登山の普及に努める。
- ・登山道、道標、トイレなどの整備とその適切な管理に努める。
- ・今後設置する道標及び案内標示の様式、表記方法等について、可能な限り統一に努める。
- ・詳細な山岳情報と気象情報の提供に努める。
- ・中高年登山者やツアー登山参加者の安全確保に努める。

「日本における国際認定山岳医制度について」の講演

講師：日本登山医学会認定山岳医委員会委員長 増山 茂 氏
講師：英国国際山岳医、北海道警察山岳遭難救助アドバイザー 大城 和恵 氏



国立競技場

サッカー	FIFA U-20 女子ワールドカップ ジャパン 2012 準決勝 2 試合 (9/4)
サッカー	FIFA U-20 女子ワールドカップ ジャパン 2012 決勝 / 3 位決定戦 (9/8)
陸上	天皇賜盃 第 81 回日本学生陸上競技対校選手権大会 (9/9~12)
陸上	第 23 回関東学生新人陸上競技選手権大会 兼関東学生リレー競技会 (9/14~15)
コンサート	アラフェス ARAFES (9/20~21)
サッカー	Jリーグディビジョン 1 第 27 節 柏レイソル vs 浦和レッズ (9/29)
陸上	第 49 回東京スポーツ祭典陸上競技大会 (10/6)
陸上	東京のんびりマラニック 第 13 回東京夢舞いマラソン 東京のんびり自転車散歩 第 5 回東京夢舞いポタリング (10/7)
陸上	Number Do EKIDEN (10/8)
陸上	第 30 回記念東京マスターズ陸上競技選手権大会 (10/14)
陸上	フライデーナイト・マラソン in 国立競技場 秋大会 (10/19)
陸上	2012 グリーンリボン ランニング フェスティバル (10/21)
陸上	国立競技場ファンラン DAY2012 ~快走快食~ (10/28)

秩父宮ラグビー場

関東大学対抗戦 A	
ラグビー	早稲田大学 vs 日本体育大学, 立教大学 vs 帝京大学 (9/9) 青山学院大学 vs 帝京大学, 筑波大学 vs 慶應義塾大学 (9/16) 筑波大学 vs 早稲田大学 (10/14) 帝京大学 vs 慶應義塾大学 (10/21)
関東大学リーグ戦第 1 部	
ラグビー	中央大学 vs 関東学院大学 (10/14) 東海大学 vs 関東学院大学 (10/28)
ジャパンラグビートップリーグ 2012-2013 ディビジョン 1	
ラグビー	リコー vs パナソニック, 東芝 vs NTT コミュニケーションズ (9/1) キヤノン vs 東芝 (9/7) NEC vs トヨタ, サントリー vs 九州電力 (9/8) リコー vs サントリー (9/14) キヤノン vs 神戸製鋼, 東芝 vs NTT ドコモ (9/15) NTT コミュニケーションズ vs リコー (9/21) サントリー vs キヤノン, 東芝 vs パナソニック (9/22) NEC vs パナソニック (10/5) リコー vs 福岡サンニックス, NTT コミュニケーションズ vs NTT ドコモ (10/6) パナソニック vs ヤマハ発動機, リコー vs NEC (10/13) NEC vs 東芝, サントリー vs パナソニック (10/20) キヤノン vs ヤマハ発動機, NTT コミュニケーションズ vs トヨタ (10/27)
ジャパンラグビートップイーストリーグ ディビジョン 1	
ラグビー	釜石 SWRFC vs 横河武蔵野 (9/23) 日野自動車 vs ヤクルト (10/21) フコダ vs IBM (10/28)

代々木第一体育館

コンサート	SUNSTAR Ora² presents J-WAVE LIVE 2000+12 (9/1~2)
展示会	HAL-MODE FESTIVAL 2012 HAL と MODE の卒業制作展 アジア新世紀 ~アジアの未来が、世界の未来~ (9/5)
フェンシング	第 65 回全日本フェンシング選手権大会 (個人戦) (9/7~9)
展示会	rooms25 + NEST (9/11~13)
ファッションショー	TOKYO RUNWAY 2012 AUTUMN/WINTER (9/17)
バドミントン	YONEX OPEN JAPAN 2012 PART OF THE OSIM WORLD SUPERSERIES (9/18~23)
太極拳	第 6 回東京都支部大会 (9/24)
新体操	イオンカップ 2012 世界新体操クラブ選手権大会 (9/28~30)
コンサート	テレビ朝日ドリームフェスティバル 2012 (10/6~8)
コンサート	ayumi hamasaki ARENA TOUR 2012 A ~ HOTEL Love songs ~ (10/10~11)
新体操	Chacott CHAMPIONSHIPS 第 30 回全日本ジュニア新体操選手権大会 (10/13~14)
コンサート	DREAMS COME TRUE ㊦ドリワンダーランド 2012/2013 (10/20~21)
空手	東日本大震災復興支援チャリティー骨髄バンクチャリティーオープン トーナメント 第 44 回全日本空手道選手権大会 (10/27~28)

代々木第二体育館

バスケット	第 62 回関東大学女子バスケットボールリーグ戦 (9/1~2)
新体操	第 41 回東京女子体育大学同短期大学新体操競技部研究発表会 (9/6)
コンサート	ANCAFESTA'12 「SUMMER DIVE」 ~大航海時代~ (9/8)
コンサート	ANCAFESTA'12 「SUMMER DIVE」 ~原宿奪還~ (9/9)
卓球	関東学生卓球 秋季リーグ戦 1 部リーグ (9/12~13)
バスケット	第 88 回関東大学バスケットボールリーグ戦 (9/15~16)
チアリーディング	ICU アジアオープンチアリーディング選手権 (9/21~23)
バスケット	第 14 回 Wリーグ (9/28~29, 10/19)
ヘアコレクション	OMOTESANDO COLLECTIONS HAIR TRENDS 2012-2013 (10/2)
空手	第 4 回全日本空手道選手権大会 (10/7)
バスケット	第 11 回東京都実業団バスケットボール選手権大会 (10/14)
バスケット	JBL2012-2013 (10/20~21, 27~28)

味の素フィールド西が丘

サッカー	第 92 回天皇杯全日本サッカー選手権大会 2 回戦 (9/8)
サッカー	Jリーグディビジョン 2 第 33 節 東京 V × アビスパ福岡 (9/14)
サッカー	第 86 回関東大学サッカーリーグ戦 (9/15, 22)
その他	体育の日イベント スポーツ祭り 2012 (10/8)
サッカー	第 48 回全国社会人サッカー大会 国体リハーサル大会 (10/15~16)
サッカー	第 86 回関東大学サッカーリーグ戦 (10/28)

●スケジュールは変更になる場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。http://www.naash.go.jp ●

国立競技場 (☎ 03-3403-1151) 国立代々木競技場 (☎ 03-3468-1171)
秩父宮ラグビー場 (☎ 03-3401-3881) 西が丘サッカー場 (☎ 03-5963-0203)

編集後記

熱戦が続いたロンドンオリンピック。中でも、個人的に注目していたのはアーチェリーです。6・7月号でご紹介したとおり、JISS にアーチェリー実験・練習場が完成し、供用開始直後から練習していた選手の活躍を楽しみにしていました。結果はご存じのとおり、女子団体、男子個人でメダルを獲得。すばらしい結果とともに緊迫した試合での選手の笑顔は、特に印象的で、アーチェリーの魅力が全国に伝わったと思います。本当におめでとうござります。 (Y)

国立競技場 第 593 号

2012 年 9 月 1 日発行 (隔月発行)

●編集・発行

独立行政法人日本スポーツ振興センター

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 10 番 2 号

tel 03-3403-4151 (国立競技場 運営調整課)

●編集協力 株式会社ジャニス

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。